

小坂みかん共同農園は、葛城山の山腹に広がる5万平方メートルの斜面に約8千本が植えられています。今年は、実も大きくて甘みののったミカンが期待できるとのこと。ミカン狩りは来年1月5日まで。入園料は食べ放題で4百円。問い合わせは同農園 ☎0120(418)097へ。

10/1 今年のみかんは期待大 小坂みかん共同農園オープン
小坂地区にある小坂みかん共同農園で、今シーズンのミカン狩りがオープンしました。秋晴れに恵まれたこの日、市長や観光協会などの関係者を迎え、開園式を開催。地元の子どもたちによる『みかん神輿』などで開園を祝いました。



先の台風にも負けずに実った“落ちないミカン”



源頼朝役を演じた高相香穂さん（大仁北小6年）（上）

10/9 全国で唯一の創作舞台 子ども創作能を上演
伊豆で挙兵した源頼朝を題材にした子ども創作能『伊豆の頼朝』を、守山八幡宮（寺家）で市内小中学生が上演しました。この日は、寺家区の例大祭に併せての上演。地元保存会による三番叟に続いての披露となりました。子ども創作能は、地元で伝わる民話や伝説などを元にした能を、能楽師八田達弥氏が子どもたちに指導。子どもたちは、今年に入り10回を超える練習を積み重ねてきました。立花地区から鑑賞に来た女性たちは「後ろの地謡（コール）の人たちまで口を大きく開けて、とても立派でした」と感心していました。

10/14 日ごろの成果を歌声に 小中学校音楽発表会
市内の小・中学校の代表児童・生徒による『音楽発表会』をアキンスかつらぎで開催しました。オープニングでは、長岡北小4・5年生による伊豆の国の歌『守ってこう伊豆の国』が披露されました。これは、昨年度の長岡北小6年生によって作詞された、「自然や歴史のふるさと・伊豆の国を、いつまでも守ってこう」という内容の歌です。続いて、市内6小学校、3中学校の各代表が、合唱や演奏を発表。日ごろ積み重ねた練習の成果が、美しい歌声や演奏となって表れ、来場者を大いに楽しませました。



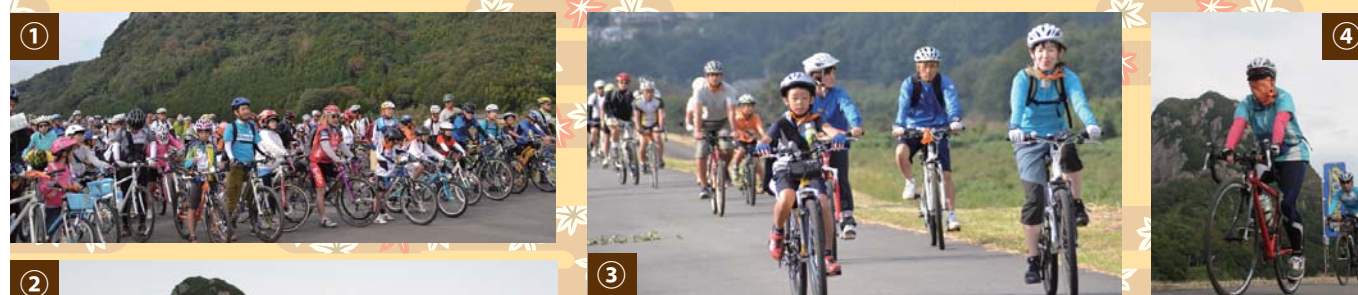
オープニングで披露された長岡北小『守ってこう伊豆の国』



切手は周辺14市町の郵便局で販売中

10/14 市の魅力を郵便にのせて 伊豆の国市フレーム切手販売
富士山や葦山反射炉などの、市の名所を描いた切手シート『フレーム切手自然に恵まれた国・伊豆の国』が完成しました。切手は、郵便局と観光協会によって作成され、この日、郵便局会社東海支社の栗田純一社長から、市長に贈呈されました。市長は「葦山反射炉の世界遺産登録に向けて力になる。メール全盛の時代だが、もらった人の手元にずっと残る郵便の良さを、この切手で再認識してほしい」と語りました。フレーム切手は、伊豆の国市と周辺14市町の郵便局で、1シート1200円にて限定販売中。ぜひ、お近くの郵便局でお求めください。

過去最多827人が半島横断 第12回狩野川100キロサイクリング
10月1日・2日
狩野川沿線の景色を楽しみながら完走を目指す『狩野川100キロサイクリング』が、中島運動公園を発着点に行われました。安全にサイクルを楽しめる同イベントは、県内外から多くの自転車愛好者が参加。また、親子や友人と一緒に参加するグループも多く見られました。



①いよいよ50キロコーススタート ②市の名峰“城山”下に集う参加者たち ③親子の参加者も多く見受けられました ④完全装備で挑む参加者たち ⑤堤防から彼岸花も応援してくれました



『やわら太鼓』のみなさんによる力強い太鼓の演奏

9/18-19 2日間で3千人が来訪 伊豆の国市民文化祭
今年で第7回目となる伊豆の国市民文化祭を、アキンスかつらぎを会場に開催しました。昨年に引き続き、芸能発表会と作品展示を同会場にて実施。2日間で約3千人が来訪し、「文化の秋」を楽しみました。芸能発表の部には、2日で50団体が出演。太鼓や武術、民謡などを大ホールステージで披露し、来場者から大きな拍手を浴びました。作品展示では、館内全体にわたり作品を展示。63団体が書道や手芸品、生け花、俳句などの力作を展示しました。『文化協会だより(22ページ)』では、同協会からの開催報告があります。

9/22 多賀城市で医療支援 MOAが健康相談・炊き出し
去る8月10日に被災地の医療支援のため宮城県多賀城市を訪れたエムオーエー奥熱海クリニック（佐久間哲也所長）が、この日、市長を訪れ、現地での活動を報告しました。同チームは、多賀城市総合体育館を会場に、健康相談や理学療法、鍼灸指圧、園芸療法や音楽療法等の各種セラピーと炊き出しボランティアを実施。その後、多賀城市役所の菊地健次郎市長を表敬訪問しました。市が災害時の相互応援協定を結ぶ多賀城市へは、震災以降、伊豆の国市行政だけでなく、多くの民間企業・団体も支援しました。今後も官民一丸となり、被災地の復興を支えます。



現地で健康相談等を行うMOAの医療支援チーム